



地域活性化人材育成事業 ～SPARC～

現場密着型地域人材育成 産学研連携教育課程 イノベーション

山口大学、山口県立大学、山口学芸大学が連携して行うSPARC事業では人間中心の視点からDXを実践し、ひとや地域の課題解決のために貢献できる文系DX人材を育成します。予測不可能な時代に必要な汎用的能力としての地域の課題発見、情報革命時代にDXを活用した課題解決の能力を育むことを目的とするPBL(project/problem-based learning)はどのような成果を上げているのでしょうか。海外の先進的なPBLの実践・学生評価・事業評価等を共有し、PBLで育むべき資質・能力の評価に対する理解を深めるとともに情報交換を行います。

令和6年 7月31日(水)

時間 13:00-16:00

会場 北キャンパス1号館4階
ミーティングルーム1-4 (A402-A405)

要申し込み・参加無料

※使用言語：韓国語(逐次通訳あり) ※オンライン同時配信なし(対面のみ)

1.



慶南大学校 LINC3.0事業団
イルモリ教育団長

産学協力先導大学育成事業(LINC3.0)の主な成果と イルモリ士官学校のデジタルヘルスケア運営事例

理学博士
朴恩姝 バク・ウンジュ

韓国教育省が実施している産学官先導大学育成事業(LINC3.0; Leaders in Industry-University Cooperation 3.0)を活用して慶南大学校で取り組んできた事業の運営状況と主要成果、デジタルヘルスケア—イルモリ士官学校の推進事例、更にはデジタルと融合した食品栄養学科のネクテッドヘルスケアの事例について発表を行う。

2.



慶南大学校 LINC3.0事業団
イルモリ教育本部長

問題解決能力向上のための PBL教授法と高校連携PBL適用事例

教育学博士
鄭恩姬 チョン・ウンヒ

問題解決能力向上のためのPBLと教授の役割について紹介する。具体的には問題シナリオの提示及び問題分析の段階に関して発表するとともに、地域社会高校と連携したPBL適用について九岩高等学校との連携を例に発表を行う。

3.



慶南大学校
イルモリ教育メンター教授

イルモリ教育実現のためのファシリテーション教授法

教育学博士
李眞姬 イ・ジンヒ

イルモリ教育を促進するための重要なポイントの一つである、ラーニングファシリテーションの理解を深めることを目的として、質問、傾聴、ほめの技術、さらには記録と要約の技術について発表を行う。

4.



山口県立大学
国際文化学科 学科長

DXによる地域課題解決(PBL) —令和5年度および令和6年度の取組について—

学校教育学博士
岩中 貴裕 イワナカ タカヒロ

山口県立大学はSPARC (Supereminent Program for Activating Regional Collaboration)の採択を受けて、令和5年度より「DXによる地域課題解決PBL」の試行を開始した。企業や学外の組織と連携し、DXを用いて地域の諸課題を解決しようとする態度を育むことを目的としている。令和6年度は試行の2年目にあたる。これまでの取組について紹介し、成果と課題について報告する。

お問い合わせ

山口県立大学 国際文化学部長 西田光一
knishida@yp4.yamaguchi-pu.ac.jp

参加
申込み先

SPARC推進室 担当:林
<https://forms.office.com/r/sJAFy9jbmq>

参加申込み
締切日
7/29(月)

